

小児科学 再試

2022/12/20 実施

(全問記述)以下の10問の中から任意の5問を選択して解答せよ。

- ・ aya 世代の癌の特徴について
- ・ 新生児マススクリーニングの6疾患と最近の動向
- ・ 新生児てんかんの診察手順、特徴
- ・ 小児の摂食異常について特徴と指導内容
- ・ 自己炎症性疾患と自己免疫性疾患を免疫メカニズムを踏まえながら説明
- ・ 新生児蘇生について
- ・ 小児の感染症について成人との違いに触れながら説明
- ・ 小児の診療で注意すること
- ・ 6ヶ月、1歳、1歳6ヶ月、4歳健診で検査すべき項目
- ・ 胚発生における遺伝子発現の制御について説明しなさい

小児科再試について

1：予告について

添付した pdf のような予告がありました。

2：再試実施日について

再試の実施日は 2022 年 12 月 20 日でした。発表はありませんでしたが、不合格者はいませんでした。

3：再々試について

再試で病欠者が出た関係で、再々試が実施されました。再々試の実施日は 2023 年 1 月 16 日でした。

再々試実施に当たり、「再試 1 回目と異なる問題で実施する」と予告されたものの、実際は再試 1 回目と同一問題でした。

令和4年度 成育学コース（1～3週小児科学担当分）

再試験 案内

実施要項

日時： 2022年12月20日（火） 15時35分 集合

場所： 医学部棟3階 3N13 小児科学 解析室

試験内容

記述式問題のみ。

成育学コース1～3週における20の講義内容の中から、記述式問題を5問出題する。

試験時間 50分。

配点・合否判定基準

今回の再試験は、1問5点×5問＝25点満点 で評価する。

最終的な合否判定は、

〔本試験（11月25日実施）で獲得した得点（100点満点）〕と〔再試験の得点（25点満点）〕を合算し、その合計125点満点のうち、60点以上の獲得をもって、小児科学担当分試験を合格と判定する。

（但し、最終成績評価にあたっては、再試験受験での合格者は全員「本試験60点」として評価する。）

なお、11月25日実施の「本試験」で各学生が獲得した得点については、事前に開示しない。

再々試験は実施せず、今回の再試験をもって成育学コース小児科学担当分の最終合否を判定する。

ただし、新型コロナウイルスのほか感染が疑われる諸症状により当日の受験が困難な場合は、遅滞なく学務係に電話連絡のうえ、医療機関への受診が証明されるもの等を提出した場合のみ、事後の対応を検討する。